

特集「ネットワークサービスと分散処理」の編集にあたって

木原 民雄^{1,a)}

インターネット上を始めとして、様々な「ネットワークサービス」が提供されるようになり、人々の生活の中で必要不可欠なものとなりつつあります。しかしながら、それらは「基盤」として恒常的な存在となるには至っておらず、つねに変化を続けています。たとえば、ネットワークサービスを構成する端末は、ワークステーションやPCから、携帯電話、スマートフォン、家電、センサへと広がり続け、扱われるデータ量も膨大なものとなってきています。また、従来のメールやWeb等の「1対1」「1対多」の通信にとどまらず、ソーシャルネットワークなどコミュニケーションの「場」の提供をするようにまでなっており、多様化しています。さらに、クライアント・サーバだけでなく、オーバーレイネットワーク、クラウドコンピューティングといった新しい利用形態の提案も生まれ続けています。普及と発展を続けるネットワークサービスを支え続けるためには、コンピュータやネットワーク技術の高度化に加え、領域横断的なテーマ、萌芽的なテーマについても幅広く議論することが必要となります。具体的には、センサやアクチュエータなどを用いたスマートな生活環境を支える情報サービス、個人の嗜好や状況に応じて最適なコンテンツを提示・配信するコンテンツサービス、大規模な知識情報を共有するためのコラボレーション環境、プライバシーやセキュリティといった観点を含めたネットワークと社会の相互関係、従来考えられていなかった環境下での通信などの様々な観点からネットワークやコンピューティングの課題を明確にするとともに、物理層からアプリケーション層に至るさまざまな技術的・社会的な課題と解決法を議論することが必要となります。

本特集は、こうした将来のネットワークサービスを実現するネットワーク基盤技術、サービス技術、アプリケーション技術、新世代のマルチメディア処理や分散処理技術などに関する研究成果を取りまとめることで、当該分野の研究開発の動向を捉えるとともに、同分野の研究開発を促進することをねらいとして企画されました。特集号編集委員会は、「マルチメディア通信と分散処理」研究会の運営委員を中心に末記のとおり構成しました。特集号には38編

の論文が投稿され、2012年3月、5月、7月、10月に開催された編集委員会において慎重な審議を経たうえで、26編の論文が採択されました（採択率68%）。

投稿された論文は、「ネットワークサービスと分散処理」に関する幅広い分野にわたりました。採択された論文は、ネットワークエンタテインメント4編、ネットワークセキュリティ4編、無線・モバイルネットワーク6編、ウェブの応用サービス4編、クラウドコンピューティング3編、ユビキタス・モバイルコンピューティング5編の合計26編となっており、いずれの論文も将来のネットワークサービスの実現に必要な様々な研究課題に対する解決策が議論されています。本特集が「ネットワークサービスと分散処理」に関する研究分野の発展や研究コミュニティの形成に少しでも貢献することができれば幸いです。最後に、特集号の企画・編集、論文の査読・採択に尽力いただいた幹事の寺西裕一氏をはじめ特集号編集委員会の編集委員の皆様

「ネットワークサービスと分散処理」特集号編集委員会

- 編集長
木原民雄（日本電信電話）
- 幹事
寺西裕一（NICT）
- 編集委員（五十音順）
稲村 浩（NTTドコモ）、上原 稔（東洋大学）、勝本道哲（勝本総研）、加藤由花（産業技術大学院大学）、金井 敦（法政大学）、木谷友哉（静岡大学）、串田高幸（日本IBM）、郷健太郎（山梨大学）、後藤真孝（東芝）、小西 琢（日本電気）、笹井一人（東北大学）、佐藤文明（東邦大学）、三部靖夫（NTTデータ）、重野 寛（慶應義塾大学）、重安哲也（県立広島大学）、白石 陽（公立はこだて未来大学）、田上敦士（KDDI研究所）、滝沢泰久（関西大学）、寺島美昭（三菱電機）、中嶋卓雄（東海大学）、乃村能成（岡山大学）、野呂正明（富士通研究所）、橋本浩二（岩手県立大学）、藤田 茂（千葉工業大学）、山室雅司（NTTソフトウェア）、吉廣卓哉（和歌山大学）

¹ 日本電信電話株式会社
Nippon Telegraph and Telephone Corporation, Yokosuka,
Kanagawa 239-0847, Japan

a) kihara.tamio@lab.ntt.co.jp